



### 地区テーマ

地域にやさしさを  
ロータリーに活力を

### 本クラブテーマ

平常心でロータリーを

国際ロータリー第2800地区

## 鶴岡ロータリークラブ

第2469回(本年度第9回)例会

2009.9.8

●例会日／毎週火曜日(12:30~13:30)

●例会場／東京第一ホテル鶴岡

鶴岡市錦町2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

## 会長報告

富樫松夫

今日のショートスピーチは、「ななつのむだ」と「ジャスト・イン・タイム」について触れてみたいと思います。

この用語は、何れもムダを徹底的に排除するという思想からくる用語です。それでは、「ななつのむだ」とは、トヨタ生産方式で重要とされる取り組みのひとつで、ここでのムダとは、「付加価値を高めない各種現象や結果」と定義されている様です。具体的には、「作り過ぎのムダ」、「手持ちのムダ」、「運搬のムダ」、「加工のムダ」、「在庫のムダ」、「動作のムダ」、「不良をつくるムダ」の7つを指します。この7つのムダを時間という観点、また、資源という観点などで削減していくことにより、より効率的な生産の実現を目指して取り組む手法です。上記のムダを改善しないことを8つ目のムダとすることもある。

それでは「ジャスト・イン・タイム」とは「必要なものを、必要なときに、必要なだけ」生産（供給）するという生産管理手法。もともとはトヨタの「かんばん方式」に代表されるように、製造業において在庫を圧縮し、短納期で多品種・少量生産と、コストダウンの実現を目指すものでしたが、近年では、生産現場だけでなく、物流や大規模小売店やコンビニなどでも取り入れられている。私たちの身近で活用している物でも、消耗品等購入時、在庫を長期間持たないで、当日発注すると翌日配達してくれる手法のアスクル、カウネット等は良い例ではないでしょうか。

## 幹事報告

阿部純次

○ガバナーエレクト事務所

開設祝賀会のご案内

日 時：9月25日(金) 登録開始 18:00

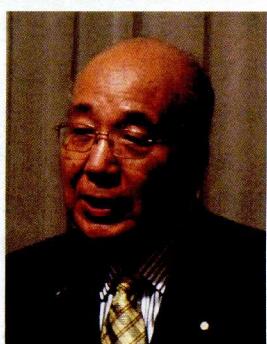
会 場：東京第一ホテル鶴岡

ゲストスピーチ 「ロータリー四方山話」

米沢中央ロータリークラブ 上杉勝己

みなさん、こんにちは。

米沢中央RCの上杉と申します。地区の情報委員長をしております。うちのクラブで「鶴岡クラブに行く」と話したら、あそこは名門だよという話になりました。名門って古い事か？いや



一人ひとりの質の問題だべ。鶴岡クラブは知ってるけどどうちと変わらねべ。こんな話が出ておりました。今日来て会場の雰囲気に触れ、一人ひとりのレベルが高いと名門になるのかなと感じました。

この間の社会奉仕セミナーで私の側に佐々木さんがおられて「ロータリアンノート」を頂きました。大変分かりやすく、読みやすいのに驚きました。以前米沢の助役をやっていた人で、非常に読解力のある頭の良い方がおりまして、私も尊敬している人から「ロータリーの奉仕はどう理解すればいいのでしょうか」と言われた事があります。こんなに頭のいい人でも分からぬのだから私がわからないのは当たり前だと思いました。そしていろんな本を読みましたが佐々木先生の本が一番分かりやすい。「みん

9月は…

新世代の為の月間



### 出席報告

会員数	42名
出席	31名
出席率	81.58%
前々回確定出席率	92.11%

■R.I会長/ジョン・ケニー ■地区ガバナー/佐藤豊彦 ■会長/富樫松夫

■会長エレクト/佐藤孝子 ■副会長/青柳孝治 ■幹事/阿部純次 ■会報委員会/櫻野隆博・石田雄

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp

な仲良く」がロータリーの原点であり、そこから色々なことを行なうことが出来るのだと思います。それが5ページ、そしてロータリーの綱領が書かれている29ページ、ここがこの本の最高の解説だと思います。これは悩んで悩んで、悩んだ人が分かる言葉です。新入会員は分からぬのではないかと思います。それがこの本の余韻を残したとても良いところです。それはやはり人から聞いたり、自分で体験したりして初めて分かるものだと思います。佐々木さんに感謝しなければと思ってきました。

さて、ロータリーの奉仕は個人奉仕だと言われています。私は時間を、私は資金を、私は知識・考えを奉仕したい。一人ひとり違うわけです。従ってロータリーの奉仕はこれだと言い切ることは出来ないと思います。決議23-34は、ロータリーの哲学と言われています。時のRI会長は「これ以上ロータリーに追加すべきものは何もない」といったそうです。私は赤の奉仕をする、私は青だ、黄色だ、白だと一人ひとりが色んな奉仕をして、全体として素晴らしいロータリーモザイクが出来上がるという訳です。

昔「無償の奉仕」、今「超我の奉仕」と言われる事を先輩から聞かされてきました。以前ロータリーの友編集長が米沢に講演に来た時にお目にかかったことがあります。どうしてロータリーの日本語訳は分かりにくいのですかと聞きましたら、直訳するように、意訳は駄目だと言われているそうです。戦前のロータリークラブも綱領が分かりにくかったのでしょう。独自の綱領を作ったクラブがありました。非常に分かりやすく、日本人の心に響く表現です。その後戦争で脱会し、戦後復帰する訳ですが、RIから勝手に綱領を作るのは駄目と言われたそうです。これもロータリーの友編集長からお聞きしました。ロータリーは個人奉仕だ、私の出来ることで奉仕しますよ、私はそれで良いのではないかと思っています。

「私たちは社会奉仕団体として下記の様な奉仕活動をしています。」第1ブロックのロータリークラブの活動を紹介するパンフレットにこの言葉がありました。慰問したり、植樹をしたり皆一つ一つ素晴らしい活動をしています。しかし「社会奉仕団体ではないのだ」と安孫子パストガバナーが言っております。会員は社会奉仕団体と思っている。ここが難しいところです。もっと分かりやすく頭のいい人が言ってくれたらいいと思うのです。ロータリーモザイクもいいし、クラブとしてまとめてやるものい

い、この辺を分かりやすく言って欲しい。最近は金銭や物品に偏って、心の奉仕がおざなりになっている、そんな感じが致します。

RIについて、私たちクラブはRIに下請けをやつもらっていると考えてみてはいかがでしょうか。RIが偉いわけではないからです。何を委嘱するかそれは、①奉仕哲学の追求 ②ロータリークラブの拡大 ③情報の提供です。そのために人頭分担金を負担している。ロータリーには三つの敵がいる。①功を急ぐ ②自信過剰になる ③特権意識を持つ、このような人がいたら教えてあげなければいけません。まだまだ話したいことはたくさんあります時間がです。有難うございました。

## 香員会報告

### SAA・出席委員会

#### ● 年間皆出席者

14年 加藤 恒介 5年 富田 喜美子

#### ● 8月 100%以上出席者

225%以上出席者…3名

藤川 享胤 塚原 初男 丸山 隆志

200%…4名 青柳 孝治 本間喜美子

西川富美子 富樫 松夫

167%…4名 阿部 純次 樋渡美智子

富田喜美子 嶺岸 禮三

134%…7名 木村 節 佐々木詰彦

真島吉也 上野欣一 斎藤 昭 菅原 亨

小林 健郎

100%…13名 阿蘇司朗 早寄 弘 横野 隆博

石田 雄 加藤恒介 牧 衛 越智茂昭

佐藤孝子 佐藤友行 若生恒吉 田中 豊

加藤 亨 高橋良士

#### ● ゲスト

上杉 勝己君 (米沢中央ロータリークラブ)

#### メイクアップされた方

牧 衛 富田喜美子 阿部純次 塚原初男

丸山 隆志 西川富美子 加藤 亨 富樫 松夫

加藤 賢 樋渡美智子 田中 豊 嶺岸 禮三

佐藤孝子 本間喜美子 越智茂昭 青柳 孝治

若生恒吉

#### ●スマイル

富樫松夫君 上杉さんスピーチ有難うございました。

塚原初男君 上杉さんの歯切れの良いお話を有難うございました。ロータリー会員を続けていて本当に良かったと改めて思いました。